

(4) 協議会・幹事会並びに各部会の令和6年度活動報告
及び令和7年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ 令和 6年 4月11日(木) 第19回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 6年 6月 6日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 令和 7年 2月 13日(木) 第2回幹事会 (Web開催) ○ 令和 6年10月 19日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第14回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：兵庫県看護協会会館 2階「ハーモニーホール」 (会場71名、Web 60名 計131名 参加) テーマ：「がんと診断されたあなたに ～患者力を高めるには～」 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式 担当病院：兵庫医科大学病院
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ 令和 7年 4月 17日(木) 第20回 兵庫県がん診療連携協議会 (Web開催) ○ 令和 7年 6月 19日(木) 第1回幹事会 (Web開催) ○ 第2回幹事会は、日程、開催方式 未定 ○ 令和 7年 11月 8日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第15回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場 所：神戸市教育会館 6階「大ホール」 テーマ：(ACPに関する内容) 開催方法：現地会場とWebのハイブリット方式(予定) 担当病院：神戸市立医療センター中央市民病院

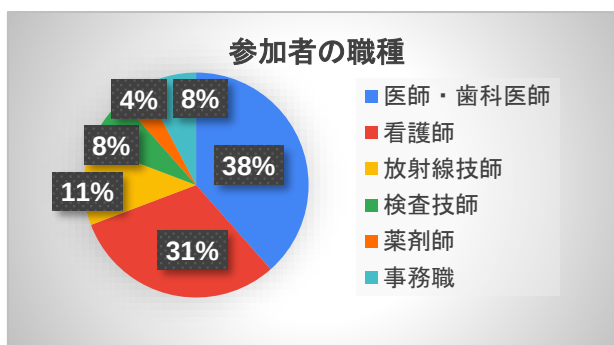
兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項 目	内 容
令和 6年度の活動報告	○ がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） 日 時：令和 6年11月22日・29日（講義）、12月 6日（事例検討会） 但し、希望者に1日のみ体験研修を県立がんセンターで実施（11月11日～15日） テ ー マ：「不眠は夜の問題ではない！」 開催方式：講義・検討会は Web開催（Zoom） 12名参加（募集20名） ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 6年10月 5日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テ ー マ：「消化器がんに対するロボット手術の現状と未来」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 23名、Web 37名 計60名 参加） ・放射線セミナー 令和 6年10月12日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テ ー マ：「直腸がんの診断と治療 ―update―」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 32名、Web 125名 計157名 参加） ・検査セミナー 令和 6年12月14日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テ ー マ：「見えない敵とどう戦うか～がんと微生物に対する両面作戦～」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 41名、Web 53名 計94名 参加） ・薬剤師セミナー 令和 7年 2月 8日（土） 神戸市教育会館 6階「大ホール」 テ ー マ：「ICIによるirAE・薬剤師外来」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第9回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日 時：令和6年11月30日（土） テ ー マ：「がん治療における妊孕性温存」 会 場：兵庫県立がんセンター（3チーム、13名参加） ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第14回ひょうご県民がんフォーラム 令和 6年10月19日（土） テ ー マ：「がんと診断されたあなたに～患者力を高めるには～」 会 場：兵庫県看護協会会館 2階「ハーモニーホール」 開催方式：現地会場とWebのハイブリッド方式（会場 71名、Web 60名 計131名 参加） 担当施設：兵庫医科大学病院（持ち回り開催）
令和 7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がん看護コアナース育成セミナーの開催（兵庫県立がんセンター） 日程、内容、開催方式、募集人数等は未定（3日程度に分けて実施予定） ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第10回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日時、内容、開催方式については、未定 ○ セミナーの開催 ・研修・教育部会セミナー 令和 7年10月11日（土） 神戸市教育会館6階「大ホール」 テ ー マ：「膵がんの診断と治療の最前線」 開催方式：現地会場とウェビナーによるハイブリット方式（予定） ・放射線セミナー 令和 7年10月25日（土） 神戸市教育会館6階「大ホール」 テ ー マ：「乳がんの診断と治療 ―update―」 開催方式：現地会場とウェビナーによるハイブリット方式（予定） ・検査セミナー 日程、テーマ等は未定 ・薬剤師セミナー 日程、テーマ等は未定 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど ・第15回ひょうご県民がんフォーラム 令和 7年11月 8日（土） 会 場：神戸市教育会館 6階「大ホール」（ハイブリット方式を予定） テ ー マ：（ACPに関する内容） 担当施設：神戸市立医療センター中央市民病院（持回り開催）

令和6年度 研修・教育部会セミナーのアンケート結果

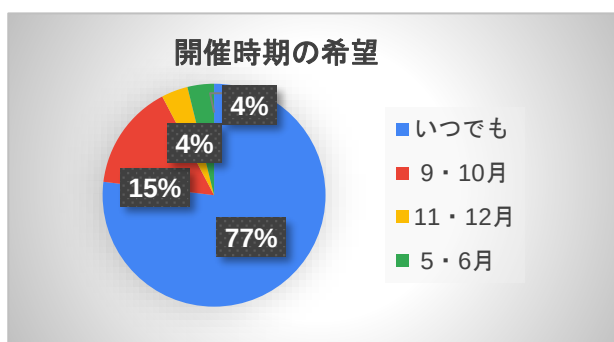
1. 職種について

職種	人数
医師・歯科医師	10
看護師	8
放射線技師	3
検査技師	2
薬剤師	1
事務職	2
計	26



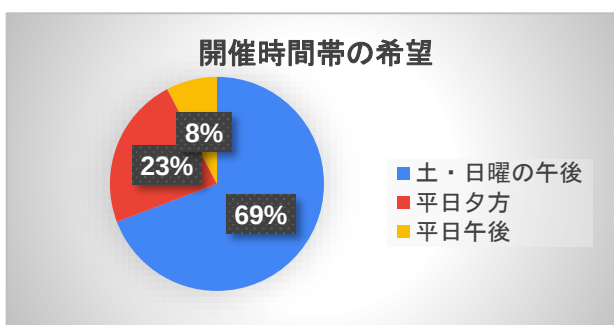
2. 開催時期の希望

時期	人数
いつでも	20
9・10月	4
11・12月	1
5・6月	1
回答無し	0
計	26



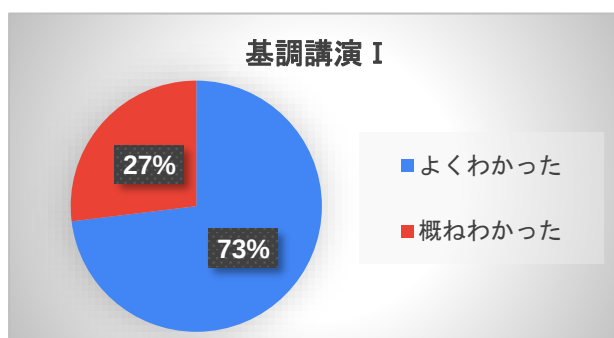
3. 開催時間帯の希望

時間帯	人数
土・日曜の午後	18
平日夕方	6
平日午後	2
回答無し	0
計	26



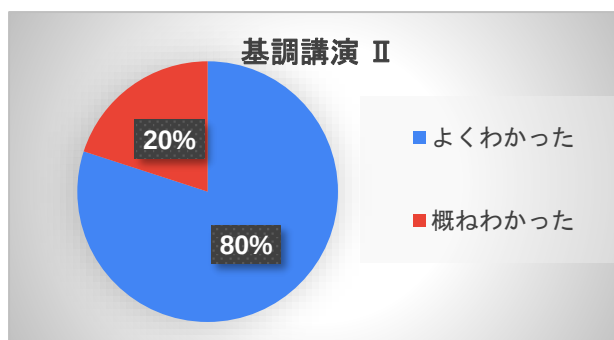
4. 基調講演Ⅰの内容 (瀧口教授)

理解度	人数
よくわかった	19
概ねわかった	7
少しわからなかった	0
回答無し	0
計	26



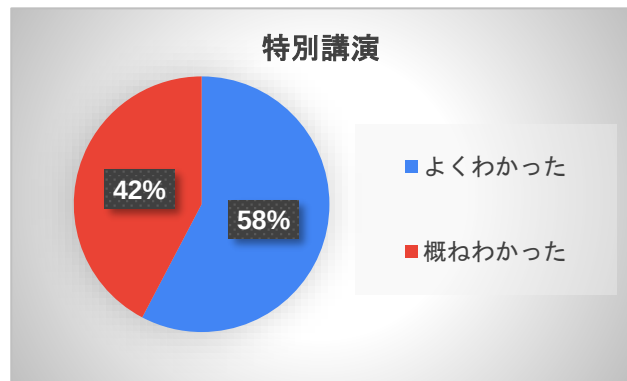
5. 基調講演Ⅱの内容 (植村講師)

理解度	人数
よくわかった	20
概ねわかった	5
少しわからなかった	0
回答無し	1
計	26



6. 特別講演の内容 (関本総長)

理解度	人数
よくわかった	15
概ねわかった	11
少しわからなかった	0
回答無し	0
計	26



7. 今後のセミナーの希望

- ・肺がん治療
- ・膀胱がん治療
- ・婦人科、泌尿器科手術についても知りたい
- ・がん治療におけるチーム医療

8. その他意見

- ・最新の治療について学ぶことができた。
- ・消化器がんの治療について、多くのことを学べた。
- ・手術映像が見れておもしろかった。
- ・大変勉強になりました。特別講演の関本先生の話が特によかった。(もっと聞きたかった)
- ・会場参加者にとって、Web配信のためのカメラが視界の邪魔になっている部分がある。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	1 活動報告 1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会を年2回開催する 第25回 令和6年9月28日(土) 13:00～16:30 対面開催 60名参加 【内容】「早期からの就労支援 ～療養者就職支援対策から 相談者のニーズに応じた就労支援ができるようになろう！～」 第26回 令和7年3月8日(土) 9:30～16:20 対面開催 (予定) (午前の部) 9:30～11:00 【内容】令和6年度 PDCAサイクルの評価 (午後の部) 12:30～16:20 【内容】ピアサポーターフォローアップ研修&相談員との交流会 2) 事務局会議の開催 Web開催 (隔月第二金曜日 14:30～15:30 1、2、3月は14:30～16:00) 令和6年5月10日、7月12日、9月13日、11月8日、 令和7年1月10日、2月14日(予定)
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	1 活動計画 1) 兵庫県がん診療連携協議会 情報・連携部会 【日程】令和7年9月27日(土) 【内容】相談員研修(認定がん専門相談員単位認定研修) 高齢がん患者の意思決定について 【日程】令和8年3月 【内容】午前の部 質評価 午後の部 ピアサポーターフォローアップ研修・交流会 2) 事務局会議 開催日時 奇数月(5・7・9・11・1・3月)、2月 第2金曜日 14:30～15:30 1月～3月は検討事項が多く、16:00まで 開催方法 WEB会議システム(Zoom) 3) 相談員研修関連 相談員研修の企画・開催、指導者の育成(案内、参加調整、研修参加等) 指導者研修への参加 4) ピアサポーター関連 ピアサポーター養成研修への協力、フォローアップ研修・交流会の合同開催 人材育成のグランドデザインの整備

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 開 催 日：6月26日 (Web開催) 議 事：今年度の院内がん登録関連スケジュールの概要 QI研究にかかるデータ提出スケジュールについて 小児患者体験調査実施について 等 参 加 者：41施設 50名参加 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 ・ 第1回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：11月14日 (Web開催) テ ー マ：喉頭・甲状腺・食道の解剖とUICC TNM病期分類及び演習解説 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター 院内がん登録室 江森 佳子 氏 担当病院：県立尼崎総合医療センター 参 加 者：94施設 217名参加 ・ 第2回院内がん登録実務者ミーティング 開 催 日：1月31日 (ハイブリッド開催) テ ー マ：兵庫県がん診療連携協議会HP公表案について (集計結果は「兵庫県がん診療連携協議会」HP内のがん登録情報として公表予定) 自施設内でのがん登録の活用について 担当病院：加古川中央市民病院 参 加 者：35施設 (会場33名、Web30名 計63名参加) ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開 催 日：5月28日 国立がん研究センター (Web開催) 報告事項：院内がん登録関連本年の予定 QIデータ提出等に関する予定 等 * 全国がん登録実務者研修会の開催 開 催 日：9月20日～10月31日 (動画配信) テ ー マ：全国がん登録の届出実務とデータ分析～登録時のポイントと演習～ 講 師：国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター長 松田 智大 氏 視聴回数：204回
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催 6月開催予定 ○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催 年2回開催予定 (講義形式 (11月)、院内がん登録数集計報告等 (2月) を予定) ○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加 開催時期未定 * 全国がん登録に関する研修会の開催 開催時期、内容未定

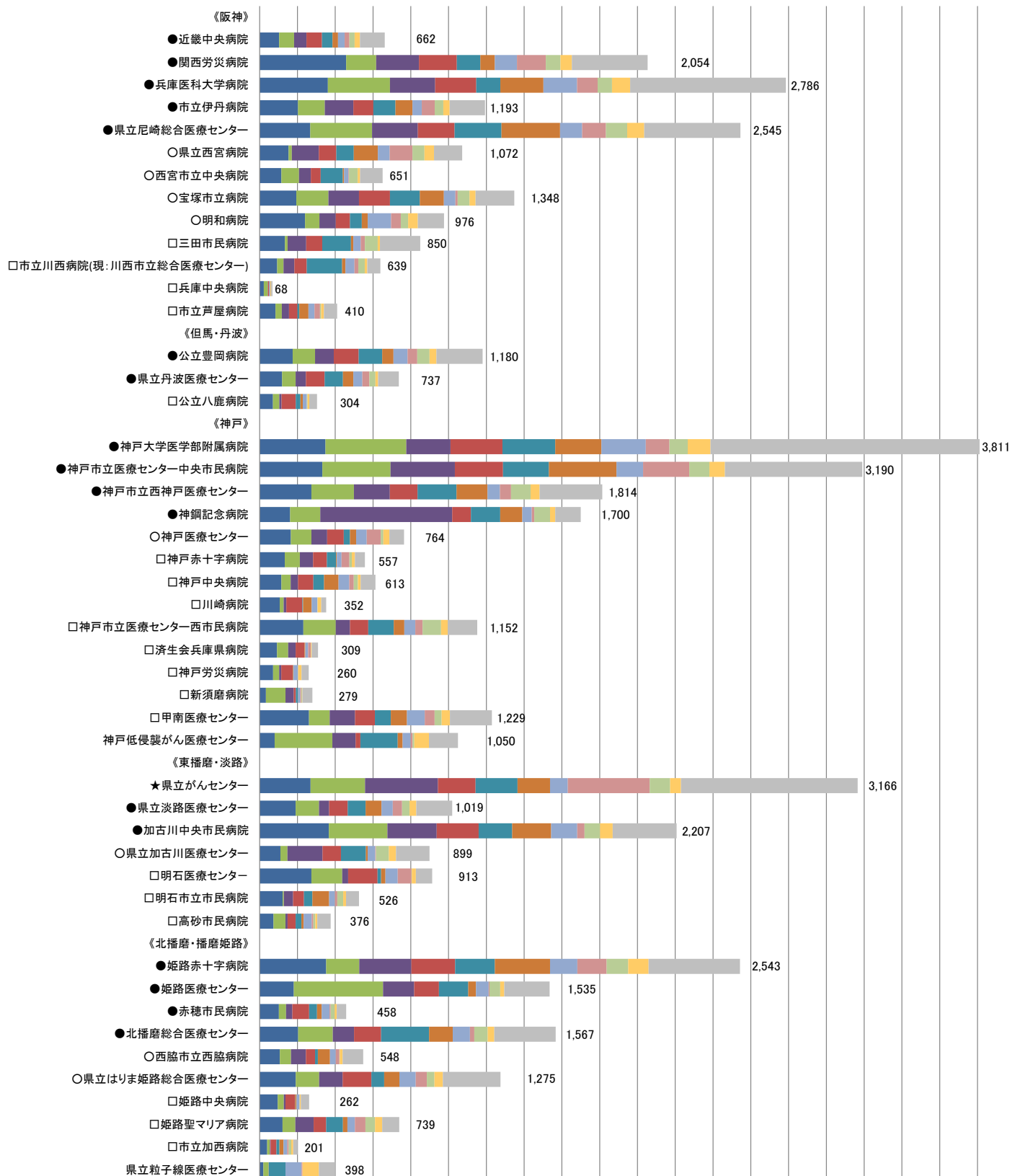
兵庫県がん診療連携協議会協議会HP 院内がん登録情報 2022年症例 施設別 部位別がん登録件数(公表案)

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

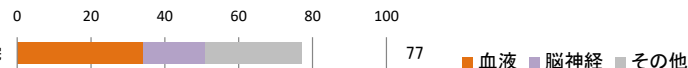
■大腸 ■肺 ■乳房 ■胃 ■前立腺 ■血液がん ■膵・胆道 ■子宮 ■膀胱 ■肝臓 ■その他
件

0 200 400 600 800 1000 1200 1400 1600 1800 2000 2200 2400 2600 2800 3000 3200 3400 3600 3800 4000



小児拠点病院

県立こども病院

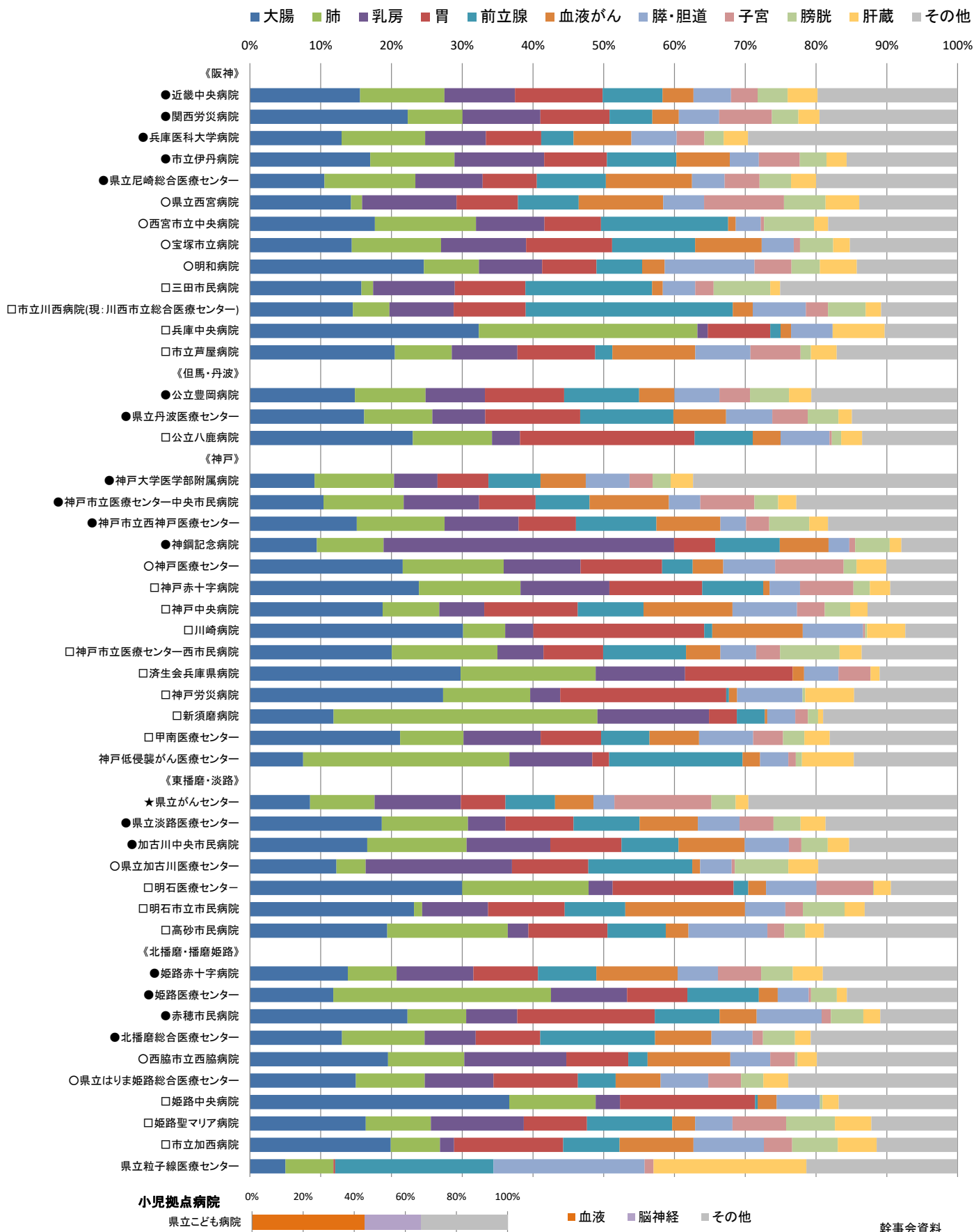


幹事会資料

兵庫県がん診療連携協議会協議会HP院内がん登録情報 2022年症例 施設別 部位別がん登録割合(公表案)

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

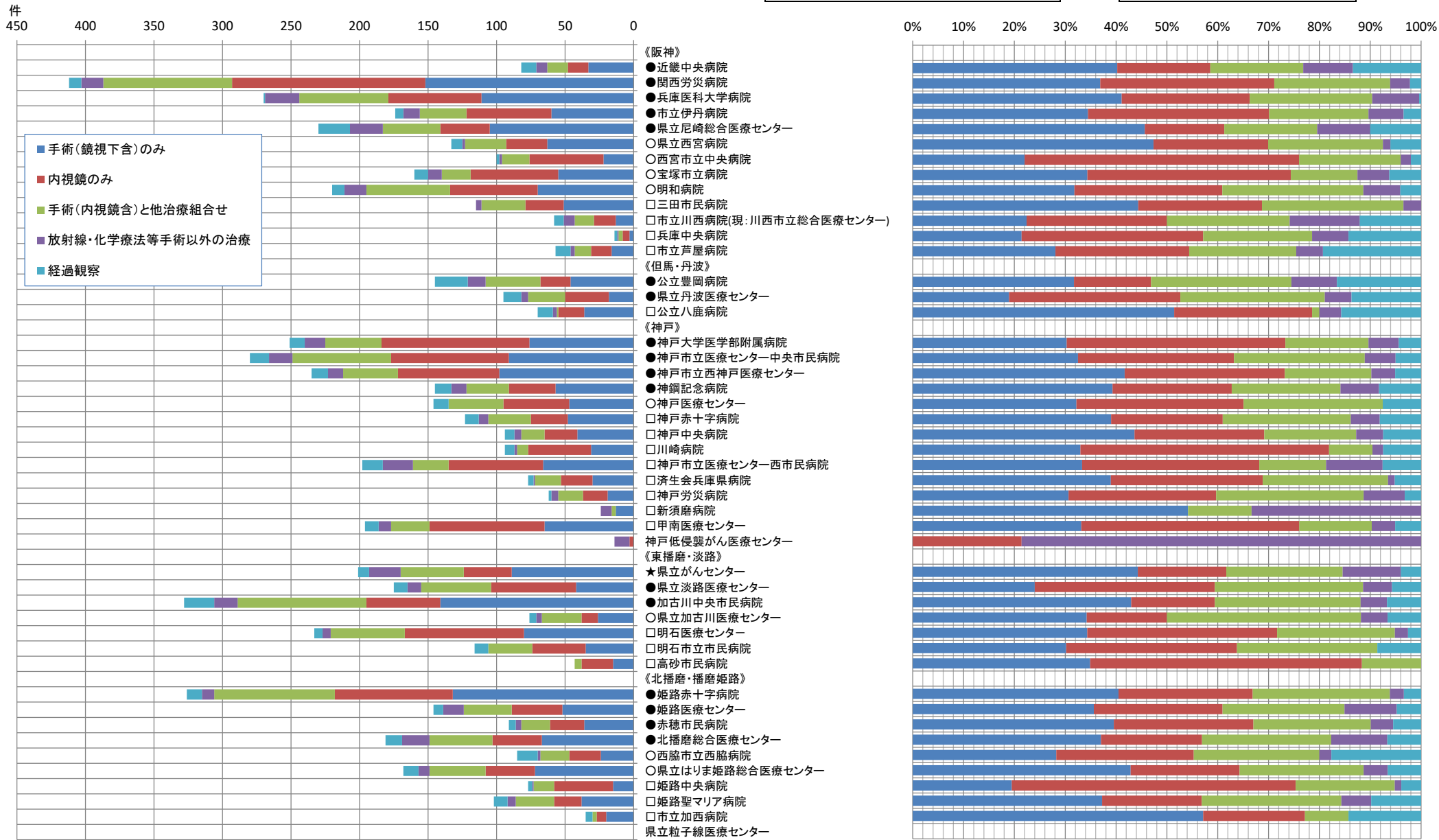


2022年症例 大腸癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 6,657 件
手術(鏡視下含)のみ= 2,420 件
内視鏡のみ= 1,940 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 1,494 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 401 件
経過観察= 402 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

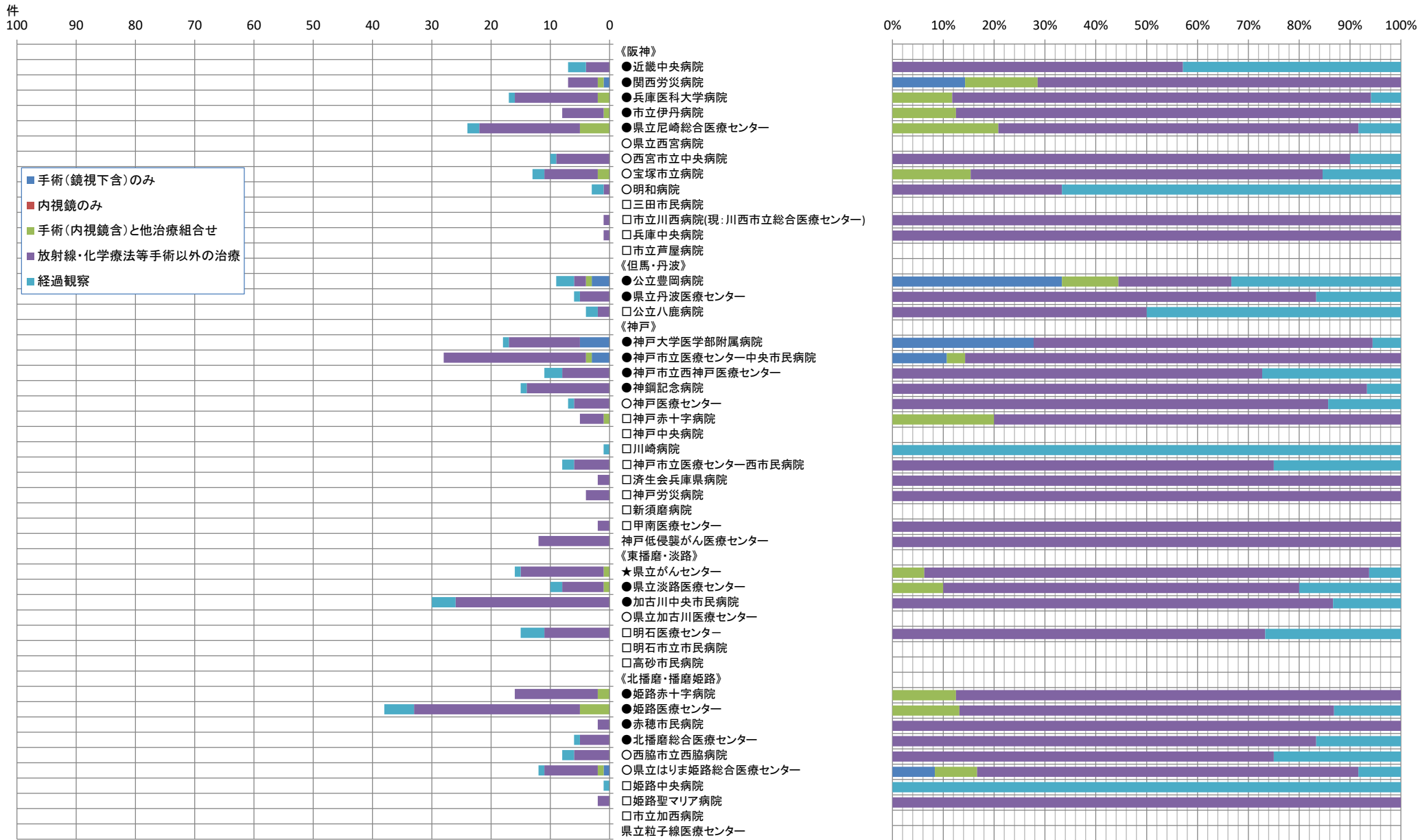


2022年症例 小細胞肺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 379 件
手術(鏡視下含)のみ= 13 件
内視鏡のみ= 0 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 24 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 295 件
経過観察= 47 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

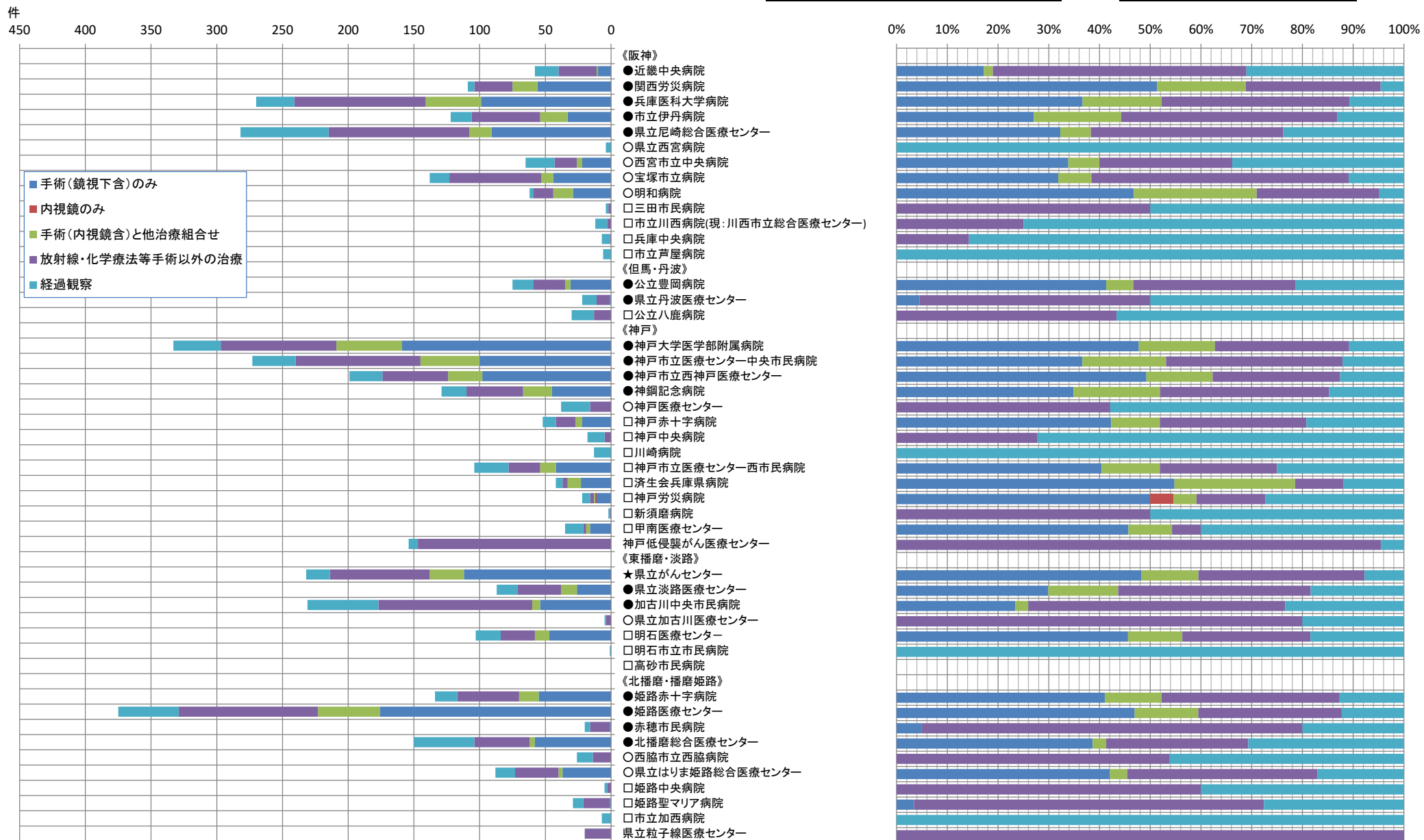


施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

經過觀察= 742 件

☐がん拠点病院に準じる病院

別表1

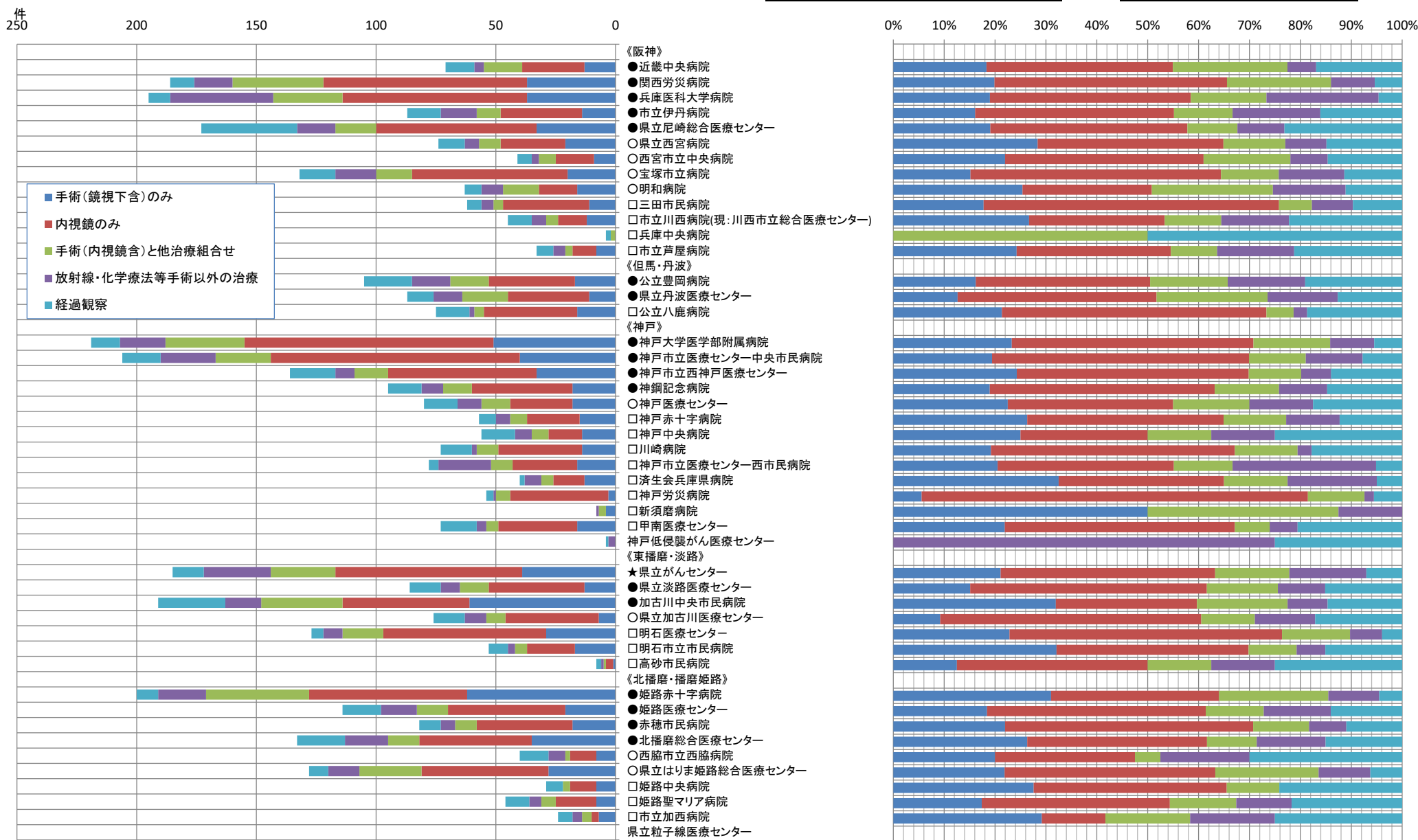


2022年症例 胃癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 4,134 件
手術(鏡視下含)のみ= 892 件
内視鏡のみ= 1,701 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 577 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 457 件
経過観察= 507 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

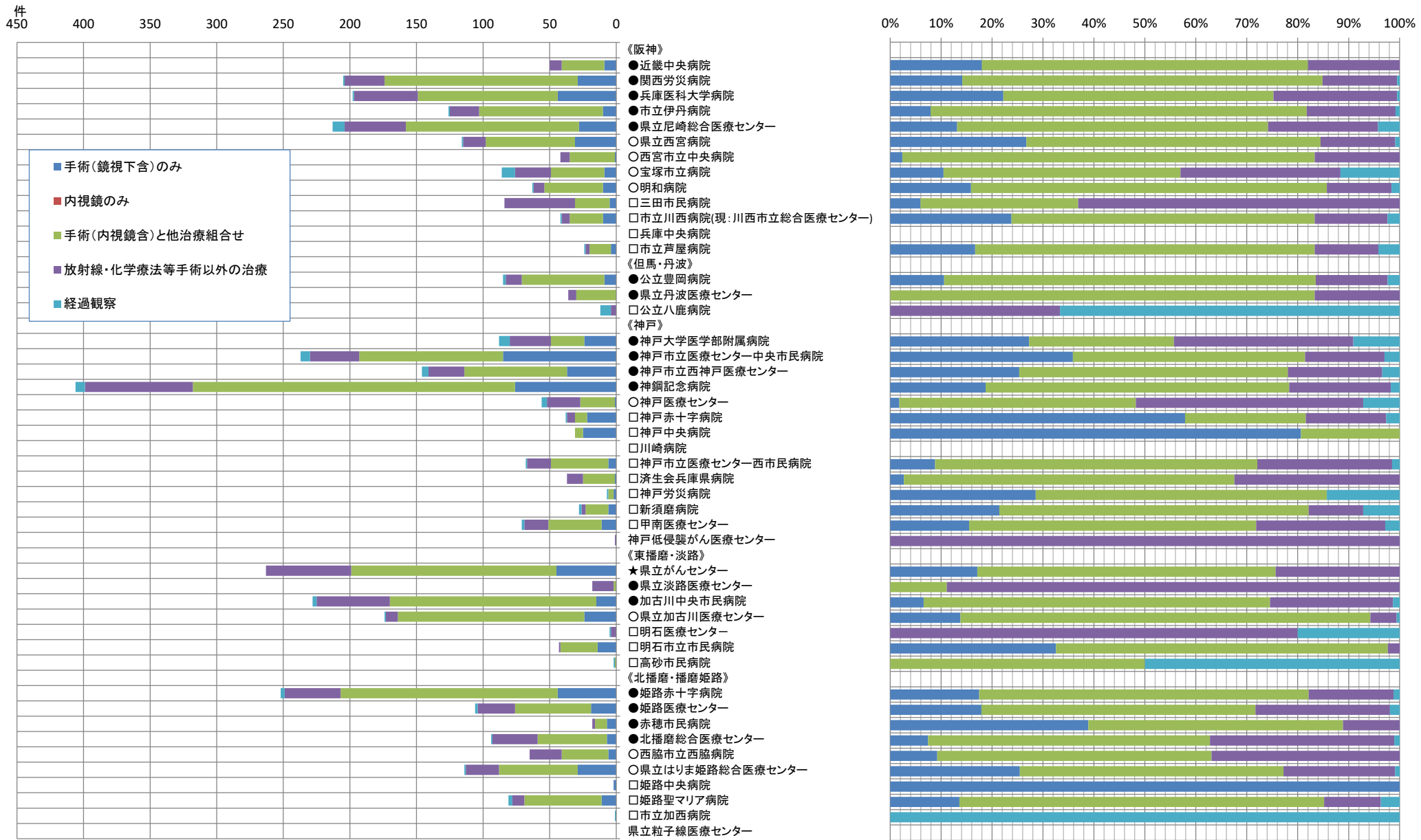


2022年症例 乳癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 4,062 件
手術(鏡視下含)のみ= 718 件
内視鏡のみ= 0 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 2,383 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 870 件
経過観察= 91 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1

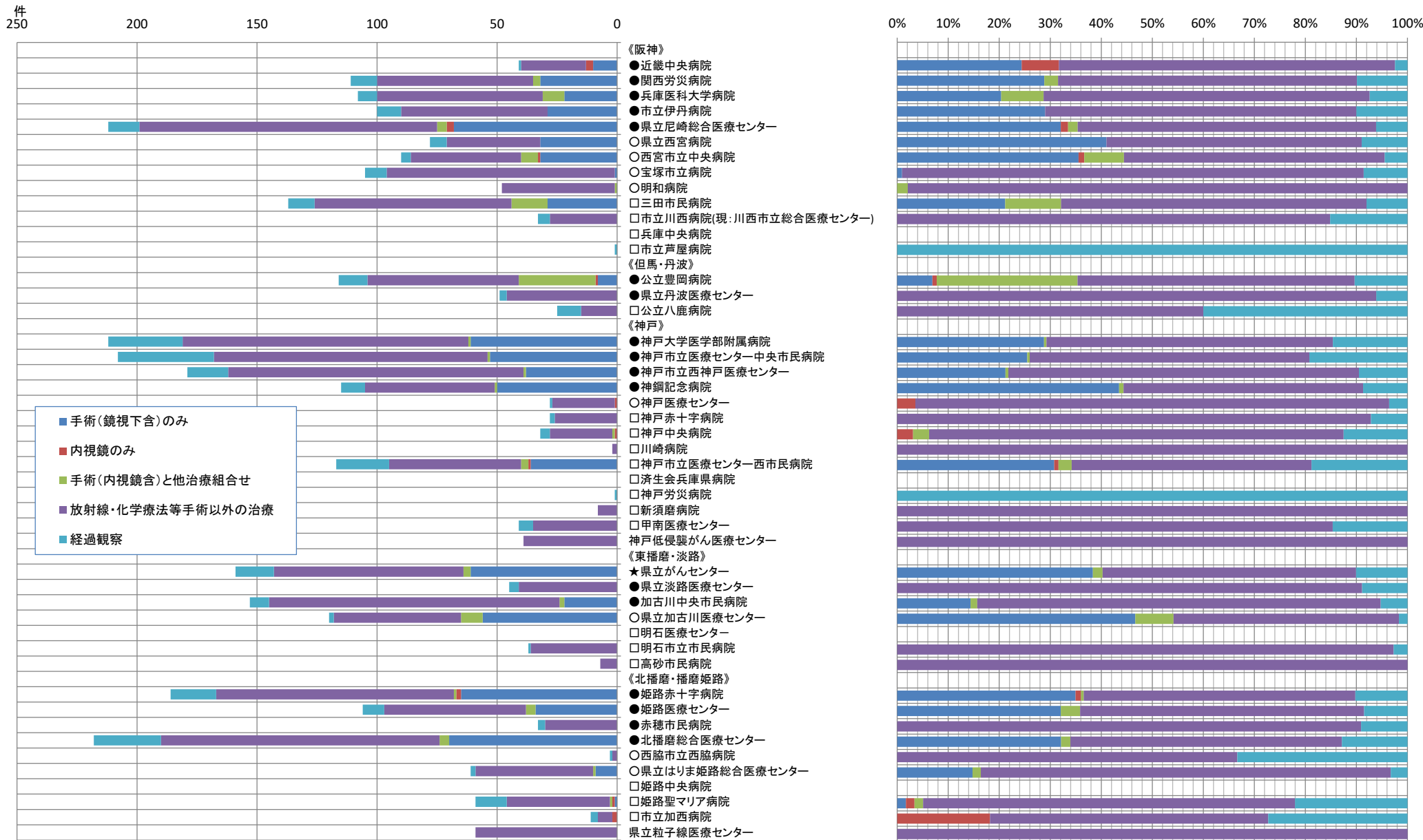


2022年症例 前立腺癌
施設別治療法の院内がん登録件数と割合(全病期)公表案

【治療内容と集計数】
治療集計数合計= 3,521 件
手術(鏡視下含)のみ= 819 件
内視鏡のみ= 16 件
手術(内視鏡含)と他治療組合せ= 104 件
放射線・化学療法等手術以外の治療= 2,234 件
経過観察= 348 件

★都道府県がん診療連携拠点病院
●国指定がん診療連携拠点病院
○県指定がん診療連携拠点病院
□がん拠点病院に準じる病院

別表1



兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年4回、Web開催:5月23日、8月22日、11月28日、令和7年2月27日予定) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (毎月第1金曜日 Web開催:令和6年4月26日、7月5日、9月6日、 10月4日、11月1日、12月6日、令和7年1月3日、2月7日、3月7日開催) ○ 緩和ケア研修会の開催(各施設で開催) ○ 令和6年度緩和ケア研修会指導者の会 (令和7年2月9日(日) 11時30分～12時30分 Web開催) ○ 令和6年度 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (令和6年12月7日10時～12時 Web開催: 参加者;17名) ○ 第15回 兵庫県緩和ケアチーム研修会 加古川中央市民病院担当 (令和 7年2月9日(日) 9時～11時20分 Web開催) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (令和6年10月13日 Web開催 対象施設:神戸市立西神戸医療センター) (令和6年12月 4 日 Web開催 対象施設:県立はりま姫路総合医療センター) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査 (9月) がん診療連携協議会HPで公開 ○ 令和6年度第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会 (令和6年12月6日 Web開催)
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ 兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会 (年3回、Web開催予定:令和7年5月22日、9月25日、令和8年1月22日) ○ 緩和ケア部会運営事務局会議 (偶数月第1金曜日17:00～17:30 Web会議) ○ 小集団活動の運営 ○ 緩和ケア研修会の開催予定 協議会HP掲載 令和7年4月 ○ 緩和ケア研修会に関する検討会 (日時未定:Web開催予定) ○ 緩和ケアフォローアップ研修会の開催 市立伊丹病院・近畿中央病院担当 (日時未定:Web開催予定) ○ 第16回兵庫県緩和ケアチーム研修会 北播磨総合医療センター担当 (日時未定:Web開催予定) ○ 緩和ケアチームピアレビューの実施 (日時未定:Web開催予定) ○ 症状緩和のための専門的治療体制に関する実態調査 (HP公開予定) ○ 都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会(未定)

令和 6 年度 第 1 回 緩和ケア部会 議事録

日 時	令和 6 年 5 月 23 日 (木) 14:00～15:00	場 所	Zoom 会議
出席者	30 施設、39 名		
主な内容	議題の前に、報告事項 今年度より、宝塚市民病院岡山氏に代わって、副部会長：兵庫医科大学病院 乾氏が就任した。 1. 活動計画について ・別紙資料のとおり、活動部会運営について説明。 ・小集団のリーダーを置いて、グループ単位で活動する方向である。 ・年間 4 回の会議では、小集団活動の報告を中心に会議をすすめていく予定。 ・運営事務局は各小集団のリーダー、部会長と副部会長で構成する。 ・国指定および県指定の病院は小集団活動に参加する方針とする。 吉村) 県の医師会などの在宅医療の先生方に、協力を求めるのはどうか？ 坂下) がん診療連携協議会、緩和ケア部会にも兵庫県医師会の先生方が参加されているが、実務に関して参加をしていただくのは難しいと考えている。部会の活動などを情報共有していただくことが主になっている。実働されることを前提として医師会から部会員を募るのであれば、兵庫県がん診療連携協議会に依頼して、医師会のメンバーを推薦してもらうという形になると思われる。 吉村) 建付けはわかっていないが、SG1 の緩和ケア研修会だけ言えば、これからは地域の医師や薬剤師、看護師に参加していただくということが有効なのではないかと思う。SG1 に所属していただいて、医師会の先生を通じて研修会についてアナウンスしてもらうことがよいのではないかと思う。緩和ケアの整備については地域を含めて行っていくことが望ましいと思う。 山川) 医師会にお願いするなら、協議会を通じて医師会にお願いするということになるだろう。SG1 に指定病院以外のメンバーが所属するというよりは、協議会を通じて参加のお願いすることになるのだろうと思う。 2. 小集団グループ活動について SG1: 吉村 昨年度から引き続きの活動になる。緩和ケア研修会を広めていけるようにしたいと思う。研修会の運営で困ることなどあれば共有していきたい。指導者の会については、昨年度よりも早めの開催を予定している。1 回目の SG1 の会議を開く予定になっている。今後、日程調整を行う予定。		

SG2：西本

先週 5 月 16 日に小集団活動を行った。今年度から研修会を持ち回りでしていくということになり、SG2 に参加してもらっている施設で、年度ごとに持ち回りで行う。終われば SG2 を卒業ということにした。今年度 1 回目は、研修会を計画予定。12 月ごろを予定している。各テーマについては、施設ごとに検討するが、県のフォローアップ研修でふさわしいかどうかについて検討する方針としている。来月に次回の会議を持つ予定。講義してもらったかたへの謝金、開催施設が病院の実績とし認められるかどうか確認中である。

SG3:西澤

緩和ケアチーム研修会では、講演会と PDCA サイクルについて取り上げる予定。2024 年度は県立尼崎医療センターが当番幹事施設となっている。PDCA は会議前に仕上げておく予定としている。緩和ケアチーム研修会は、12 月または 1 月で開催する予定としている。

SG4：堀

2 施設ピアレビュー予定をしている。参加施設を募集するので協力をしてほしい。

SG5:福永

3 年目の活動になる。例年通り、がん診療連携協議会のホームページ上で各施設の診療体制について広報活動を行う方針。また、がん性疼痛指導料に加えて難治性疼痛指導管理料についても共有していきたいと思う。パンフレットや患者向けの資料の作成についても取り組めたらよいと考えている。

濱中) 今後は診療情報については、医療者向けと患者向けと別々に検討できればと思っている。

3. 兵庫県がん対策推進計画について

がんと診断された時からの緩和ケア等の推進を達成するために、推進方策としては、①緩和ケアの質の向上、②緩和ケアチームや緩和ケア外来の診療機能の向上、が掲げられている。緩和ケア部会の活動内容については、同計画に沿って小集団活動を定めている。在宅において緩和ケアを受けることができるために、緩和ケア外来の診療機能の向上や退院後も必要に応じて緩和ケアを行うことができる体制づくりが掲げられているが、現在の緩和ケア部会の活動としては落とし込めていない。今後の緩和ケア部会の活動として必要なものがあれば、緩和ケア部会としては検討していきたい。

4. 「がん診療連携拠点病院等における緩和ケアの質の向上に資する実地調査の実装、及びがんと診断された時からの緩和ケアのさらなる推進に資する研究」に対する協力依頼について

坂下より、上記の件について、国立がん研究センター 先端医療開発センター 小川朝生医師から兵庫県緩和ケア部会へ協力依頼があり、概要と経緯について説明をした。

	・ 取り組みはいいと思い、質向上に努めるというところはよいと思う。しかし、緩和ケアチームの質向上だけをはかっても患者のアウトカムは変わらないと思うので、地域全体の介入研究になると思う そのレベルはOPTMでやっていたことぐらいやらないとアウトカムの改善につながらないのではないかと思う。OPTMは予算を使っていた。PDCAやピアレビューをしたぐらいでアウトカムが変わるのかと思う。 坂下) 患者の院内死亡数などを見ながら話し合いを行うような内容と聞いているが、詳細な内容については決まっていない。さまざまな臨床指標を視覚化して地域連携カンファレンスを行うようなイメージだと聞いている。小川先生もまだ具体的なところは、決まっていない段階かと思う。 ・ PDCAサイクルを出すということだけでも現場としては苦痛を伴っている。それに対してロジックモデルが効率的だといわれてもこれ以上は業務を増やさないでほしいという気持ちもある。 坂下) 小川先生とロジックモデルをどう考えるかについて一緒に話を聞いてもよいと思う。ロジックモデルについては簡単な解説を小川先生に説明をしてもらって、現場で活用ができるかという話し合いの場があってもよいと思う。第2回の部会のときには、30分か40分ぐらいで意見交換を行うことを考えていた。 ・ 診療をしながらなどの業務の圧迫にならないかを懸念する。次のミーティングでは懸念をもとにお話し合いができればよいかと思う。どうすることが心配かということを小川先生と話し合えるようにしてはどうかと思う。 → 上記の懸念については、小川医師へ伝えたいので、緩和ケア部会でご協力できることがないかについては相談をしてみる事となった。坂下より小川医師へ報告する旨で了承された。
次回開催予定	令和6年8月22日(木) 14時00～
決定事項	
運営事務局での調整が必要な事項	
SGでの検討を求める事項	

令和 6 年度 第 2 回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和 6 年 8 月 22 日 (木) 14:00～14:25	場 所	Zoom 会議
出席者	29 施設、35 名		
主な内容	1. 小集団活動について <u>SG1:吉村</u> 緩和ケアチーム研修会と指導者の会を同日に開催する予定で調整中。 指導者の会は、チーム研修会終了後の 11:30～開催。 <u>SG2:西本</u> 緩和ケアフォローアップ研修は、12/7(土)の 10 時～12 時を予定している。 講義内容:①「緩和的放射線治療」講師は神戸市立医療センター中央病院放射線科 医師 ②「看取りのエビデンス」講師は西本先生 <u>SG3:西澤</u> 緩和ケアチーム研修会の日程は、1/19(日)または 2/9(日)9:00-11:20 を予定。 (※日本緩和医療学会教育セミナーの日程以外とする。指導者の会と同日に開催する ため、例年よりも 30 分早く開始とする)当番幹事は県立尼崎医療センター。 講演テーマ:「高齢者の意思決定支援」講師は有馬温泉病院 老年看護専門看護師 西山みどり先生 ◎次年度も Web で研修会開催を予定しており、当番幹事は北播磨総合医療センター <u>SG4:堀</u> 今年度のピアレビューの受講施設・日程が決定した。 A 日程:10 月 30 日 (水) 午後 受講施設は神戸市立西神戸医療センター 事務局は関西労災病院、レビューは兵庫県立がんセンター(木村・西村) B 日程:12 月 4 日 (水) 午後 受講施設は県立はりま姫路医療センター 事務局は兵庫医科大学病院、レビューは県立西宮病院(福永・植田)、関西 労災病院(堀)を予定している。 事務局のマニュアルが欲しいとの意見もあり、マニュアルを作成している。 ◎A 日程のレビューが不足しており、緩和ケア部会のメンバーに協力をお願いしたい。 次年度以降のことも考慮し、オブザーバーの参加も募集したい。 ⇒10 月坂下先生、12 月西本先生にレビューとして協力頂く。 <u>SG5:福永</u> 1) インターベンション治療については、がん診療連携協議会の HP と自施設の HP をリ ンクさせ、情報発信を継続していく。		

	2) 今年度は、「難治性がん性疼痛緩和指導管理加算」に関する取り組みを新たに行っている。広報という視点から、「放射線治療および神経ブロックをがん患者に提供できる体制について、当該保健医療機関の見やすい場所へ掲示していること」に関して、ひな形の作成ができ次第、一例として全体共有を行う予定としている。 ◎今年度も各施設へインターベンション治療に関するアンケートを Google フォームで9月に実施予定。随時更新する必要があるため、協力をお願いしたい。 ⇒当部会で承認されたため、各施設へアンケート調査の依頼を行う。 <u>坂下医師より</u> ◎各グループリーダーの先生方へ 今年度の PDCA の Do を進捗に合わせて追記いただくようお願いしたい。 最終的に第 4 回緩和ケア部会で確認の予定とする。
次回開催予定	令和 6 年 11 月 28 日(木) 14 時 00～
決定事項	1) 各施設へインターベンション治療に関するアンケートを Google フォームで9月に実施する。メーリングリストで配信予定。
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	

令和 6 年度 第3回 緩和ケア部会議事録

日 時	令和 6 年 11 月 28 日 (木) 14:00～14:40	場 所	Zoom 会議
出席者	28 施設、37 名		
主な内容	1. 小集団活動について <u>SG1:吉村</u> 2024 年度 PEACE 指導者の会開催について 令和 7 年 2 月 9 日 (日) 11:30～開催 *緩和ケアチーム研修会と同日開催 緩和ケアチーム研修会と指導者の会を分別するために、ZOOM ID は別にして、広報案内を行う。広報時期は、チーム研修会の広報と同時期に行う。メーリングリストでの発信を予定。 <u>SG2:西本</u> 2024 年度緩和ケアフォローアップ研修について 令和6年 12 月7日 (土) 10:00～12:00 開催 参加者 (17名) へ受講決定メールを送信する準備を行っている。 講義内容:①「緩和的放射線治療」講師は神戸市立医療センター中央病院放射線科医師 ②「看取りのエビデンス」講師は西本先生 オブザーバー参加:坂下先生 ◎令和7年度主幹施設を募る。 <u>SG3:西澤</u> 2024年度緩和ケアチーム研修会について 令和 7 年 2 月 9 日 (日) 9:00-11:20 開催 講演テーマ:「高齢者の意思決定支援」講師は有馬温泉病院 老年看護専門看護師 西山みどり先生 研修会の案内状が、がん診療連携協議会事務局にて決済すみのため、近日中に部会全体にメール配信を予定している。応募方法は Google フォームを使用。 当日は、PDCA に確保できる時間が60分と例年よりも時間が短い。 ⇒研修会までに各施設の PDCA サイクルを完成させておく。施設間のピアレビューでは話し合いたいことを絞ってディスカッションすることを推奨する。 研修会後のアンケートは内容を事前に配信し、次年度のテーマの希望も含めて記入できるように準備しておく。 ◎令和7年度主幹施設:北播磨総合医療センター ◎令和8年度主幹施設を募る。 <u>SG4:堀</u> 今年度のピアレビューについての報告 A 日程:10 月30日 (水) 午後に終了した。受講施設は神戸市立西神戸医療センター 事務局は関西労災病院が担当した。現在報告書を作成中。		

B 日程：12月4日(水)午後 受講施設は県立はりま姫路医療センター
事務局は兵庫医科大学病院

◎令和7年度協力施設(受審・レビュー)を募る。

SG5:福永

1) インターベンション治療についてのアンケートが終了し、HP を更新している。

*兵庫県がん診療連携協議会 HP

「症状緩和のための専門的治療施設一覧」 <https://www.hyogo-ganshinryo.jp>

概要一覧から、◎の治療に関しては各施設の HP に移動できる。

年明けに緩和ケア部会のメーリングリストで、自施設の HP のリンク設置の希望を確認し、3月に HP を更新する予定としている。

◎公開している治療内容の変更がある場合は、福永先生または濱中先生へ連絡する。

2) 「難治性がん性疼痛緩和指導管理加算」に関して

放射線治療および神経ブロックをがん患者に提供できる体制についての院内掲示に関して姫路赤十字病院福永先生より資料を作成いただき、メーリングリストで共有いただいた。内容を改変し、各施設で使用することを許可いただいた。

*現在のところ、難治性がん性疼痛緩和指導管理加算を算定している病院はない。

2. 次年度の活動について

坂下先生より

①部会の開催回数について

兵庫県内の活動共有を目的に緩和ケア部会を1年に4回開催しているが、次年度以降の開催回数について意見をいただきたい。

⇒西本先生:SG の取り組みについての共有が中心で、新しい議題がでていないため、1年に3回開催とし、議題等があればメーリングリストで共有とするのはどうか。

⇒乾:西本先生と同意見。

⇒1年に3回開催で本日の出席者の大多数から同意をいただく。

◎次年度は1年に3回開催で検討する。(5月または6月、中間報告、2月)

第4回緩和ケア部会で最終の承認を得て、4月がん診療連携協議会で令和7年度の緩和ケア部会の計画を発表し、1年に3回開催で承認を得る。

②SG活動について

SG1-5の5つのグループに分かれ活動を行っている。(兵庫県のがん対策の政策に合わせてSG1-4、がん診療連携拠点病院の指定要件に関連してSG5)

次年度に向けて活動内容の変更や新たな活動についての意見を伺いたい。

各SGリーダーより

SG1 吉村先生:指導者の会の開催について兵庫県へ報告を行う必要があり、SGで担っていくことが良いと考えるため、SG1の活動を継続する。

SG2 西本先生:フォローアップ研修会は、厚労省から県へ委託されている。規模は大阪府等と比較すると小さいが、今のSGのメンバーで継続するのであれば、このままの規

	模で良いと考え、<u>SG2 の活動を継続する。</u> *医師会への広報も必要であったか？（西本先生） ⇒医師会と緩和ケア部会の繋がりがいないため、事務局から県医師会への広報を依頼することとなる。（坂下先生） <u>SG3 西澤先生</u>:チーム研修会の目的が、参加施設の交流も含まれるため、継続が良いのではないかと考える。PDCA についても、不要ではないかという意見もあるが、今の形で続けながら方法等を模索していきたい。<u>SG3 での活動を継続する。</u> <u>SG4 堀先生</u>:ピアレビューは 3 年目になる。形はいろいろな意見を得てできつつある。今後も参加・協力施設を増やして引き継いでいくことが必要と考える。<u>SG4での活動を継続する。</u> <u>SG5 福永先生</u>:インターベンショナルは 3 年目となり形はできてきた。ただ、地域の先生方にどれだけ活用いただけているのかと思うことはあり、いつまで活動が続けていくか考えるところである。今年度は患者向けの取り組みをはじめたため、次年度も <u>SG5 での活動を継続する。</u> ⇒坂下先生より、県全体で情報を発信していくことは意義のある活動だと考えている。今後部会として継続していくか、SG として継続していくかも検討はしていきたいが、次年度は継続頂きたい。県として、患者・家族に利益を届けられるように広報していく必要はある。 ⇒西本先生より、京都府でも京都府立医科大学病院が中心となり神経ブロックの情報発信を行っているが、兵庫県は県としての取り組みであり、意義のある活動で継続頂きたい。 3.その他 坂下先生より ◎次年度に向けての活動についてご意見があれば、ML へ意見を頂きたい。 ◎次年度のグループ編成を検討する上で、グループ移動の希望があれば、第 4 回の会議までに坂下先生へ連絡頂く。 ◎以下募っていく。希望があれば、坂下先生または ML で連絡を頂く。 ・緩和ケアフォローアップ研修:令和7年度主幹施設 ・緩和ケアチーム研修会:令和8年度主幹施設 ・ピアレビュー:令和7年度協力施設(受審・レビューワー)
次回開催予定	令和7年2月 27日(木)14 時 00～
決定事項	1)
運営事務局での調整が必要な事項	
SG での検討を求める事項	◎SG リーダーの先生方へ 今年度の PDCA の Do と Act をグループ内で検討いただく。 最終的に第 4 回緩和ケア部会で完成の予定とする。

2024年度 がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会 開催状況（2025.2.1時点）

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
7月9日(日)	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	山口 崇	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締切後に受講決定）
7月20日(土)	県立丹波医療センター	12名	有り	0795-88-5200	総務課 藤本 哲	板倉 崇泰	開催形式：集合 院外募集 有り
7月28日(日)	県立がんセンター	最大 18名	有り	078-929-1151	総務課 小林	丸中 淳	開催形式：集合 院外募集 有り 初期研修医は2年目以降対象
8月31日(土)	神戸市立医療センター 中央市民病院	24名 場合により 30名まで	若干名 ※備考欄 参照	078-302-4321	地域医療推進課	西本 哲郎	開催形式：集合 ※ コメディカルの方はロールプレイには傍 聴者として参加、事例検討のグループワー クには参加いただきます
9月14日(土)	姫路医療センター	15名	有り	079-225-3211	がん相談支援室 間庭	丸田 力	開催形式：集合
9月29日(日)	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	伊藤 まどか	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締切後に受講決定）
9月29日(日)	近畿中央病院	24名 予定	有り	072-781-3712	企画課 診療支援係 牧野 友美	合屋 将	開催形式：集合
10月5日(土)	神鋼記念病院	24名	無し	078-261-6711 （代表）	地域医療連携室 山田	山川 宣	開催形式：集合（予定） 院外募集 若干名
10月5日(土)	県立はりま姫路 総合医療センター	36名	有り	079-289-5080	総務課 蔭木	坂下 明大	開催形式：集合 院外募集 有り
10月6日(日)	神戸市立 西神戸医療センター	24名	有り	078-997-2200	地域医療課 江良 朝香	安藤 俊弘	開催形式：集合（予定）
10月20日(日)	北播磨総合医療センター	24名	若干名	0794-88-8800	患者総合サポートセンター 井谷・安川	山名 順子	開催形式：集合
10月20日(日)	宝塚市立病院	18名	無し	0797-87-1161	経営統括部 吉野・藤森	野間 秀樹 奥本 龍夫	開催形式：集合
10月27日(日)	赤穂市民病院	12名	有り	0791-43-3222	地域医療室 木村 泰延	久保川 修	開催形式：集合
11月2日(土)	明和病院	13名	有り	0798-47-1767	総務課 中川 晃	柳 秀憲	開催形式：集合 院内職員のみ募集
11月3日(日)	加古川中央市民病院	18名	有り	079-451-5500 （代表）	緩和ケアセンター 福富 奈緒美	西澤 昭彦	開催形式：集合 院外から受講可
11月9日(土)	兵庫医科大学病院	30名	検討中	0798-45-6611	管理課 田坂 果穂	廣瀬 宗孝	開催形式：集合
11月10日(日)	関西労災病院	18名	無し	06-6416-1221	医事課 松本	堀 謙輔	開催形式：集合 （感染状況により変更の場合有り） 院外募集 有り
11月16日(土)	神戸市立医療センター 西市民病院	20名 程度	有り	078-576-5251	総務課 三富	姜 貴嗣	開催形式：集合（予定）
11月23日 （土・祝）	神戸大学医学部附属病院	30名 程度	未定	078-382-5111	腫瘍センター 新森	山口 崇	開催形式：WEB、院外募集 若干名 （初期研修医は2年目以降対象、 募集締め切り後に受講決定）
11月23日 （土・祝）	姫路赤十字病院	24名	無し	079-294-2251	がん診療連携課 井上・安東	福永 智栄	開催形式：集合
11月23日 （土・祝）	県立淡路医療センター	24名	若干名	0799-22-1200	がん相談支援センター 十川 ゆかり	堂國 良太	開催形式：集合 院外募集 若干名
11月23日 （土・祝）	県立西宮病院	15名	若干名	0798-34-5151	総務課 大森 遼平	福永 睦	開催形式：集合 院外から受講可 初期研修医は2年目以降対象
11月30日(土)	県立尼崎総合 医療センター	30名	有り	06-6480-7000	経営企画部医事課 長田 拓也	河田 岳人	院外募集 有り
12月8日(日)	JCHO神戸中央病院	12名	有り	078-594-2211 （病院代表）	総務企画課	三田 礼子	開催形式：WEB 感染状況により集合となる可能性有
12月14日(土)	県立加古川医療センター	18名	有り	079-497-7000 （代表）	総務課 高見 新之介	田中 祐子	開催形式：集合 院外募集 若干名

2025年

開催日	主催病院	定員	コメディカル の募集	問い合わせ先			備考 締切・開催形式(WEB/集合)等
				電話番号	事務担当	企画責任者	
2月15日(土)	神戸医療センター	医師21名 (医師以外 若干名)	有り (若干名)	078-791-0111	地域医療連携室 宮嶋 邦幸	宮崎 博之	開催形式：集合
2月15日(土)	西宮市立中央病院	18名	有り	0798-64-1515 （内線614）	総務課 高森 智恵子	藤江 裕二郎	院外から参加可
2月16日(日)	市立伊丹病院	24名	有り	072-777-3118	総務課 中塚 敬之	（未定）	開催形式：集合 院内のみの募集
3月9日(日)	公立豊岡病院	18名	有り	0796-22-6111	（未定）	（未定）	院外から受講可
3月15日(土)	市立芦屋病院	30名 程度	有り	0797-31-2156	地域連携室 岡野	石丸 紗也佳 武田 亜衣	開催形式：集合 院外から受講可 （初期研修医1年目 受講可能）

令和 6 年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 実施報告書

令和 6 年度 兵庫県緩和ケアフォローアップ研修会 開催議事録

司会	医療法人信和会 明和病院 泉田 日奈子 看護師	
講師	神戸市立医療センター中央市民病院 放射線治療科 小久保 結未 先生 緩和ケア内科 西本 哲郎 先生	
参加スタッフ (順不同) (敬称略)	近畿中央病院 市立伊丹病院 神戸市立医療センター中央市民病院 西脇市立西脇病院 明和病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 合屋 将 三浦 純子 西本 哲郎 藤本 有紀 泉田 日奈子 坂下 明大 (オブザーバー)	
開催方式	Web (Zoom)	
応募人数	18 名 (参加 14 名、事前不参加 3 名、当日欠席 1 名)	
プログラム		
		内容
10:00	開会の挨拶	
10:05	講義 1 緩和的放射線治療の 基本	講師：小久保 結未 先生 内容：放射線治療の原理、緩和的放射線治療の適応 と合併症、実際の症例について 形式：スクール形式での講義
10:57	休憩	
11:02	講義 2 看取りの作法とエビ デンス	講師：西本 哲郎 先生 内容：死亡確認時に医師が注意すべき点について海 外及び日本の文献を紹介、動画を聴講、看取りに関 するお困り事などについてグループワーク 形式：スクール形式での講義＋グループワーク
12:00	閉会の挨拶	
12:05	スタッフ振り返り	・ブレイクアウトルーム利用時の残り時間の表示に工夫が 必要であった ・当日欠席者（連絡無し）が 1 名あった以外は特にはトラ ブルなく開催を終了することができた。

令和 6 年度 第 1 回兵庫県緩和ケアチームピアレビュー 報告書

日 時	令和6年10月30日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分	場所	Zoom 会議
対象施設	神戸市立西神戸医療センター病院		
レビューアー	兵庫県立がんセンター 関西労災病院(事務局)		
参加者	司会:関西労災病院 堀 対象施設参加者: 緩和ケアチーム 安藤医師、中村看護師、山崎薬剤師、三浦栄養士 診療科医師 徳重医師 病棟看護師 竹崎看護師 レビューアー: 兵庫県立がんセンター 木村医師 兵庫県立がんセンター 西村看護師 関西労災病院 堀 オブザーバー: 兵庫県立はりま姫路総合医療センター 坂下医師 兵庫県立丹波医療センター 板倉医師 事務局: 関西労災病院 医事課 松本		
プログラム	13:30-13:50 レビューアー事前ミーティング 14:00-14:15 I.導入 参加者自己紹介スケジュール概要とレビュー方法について情報共有 14:15-14:45 II.ヒアリング 困りごとの内容に応じて、一般看護師や一般診療医、緩和ケアチームメンバーへのヒアリング 14:55-15:25 III.レビューアー会議 レビューアーの意見集約 15:30-16:00 IV.まとめ 緩和ケアチームメンバーとレビューアーで総括 16:00-16:30 V. レビュー方法の振り返り		

令和 6 年度 第 2 回兵庫県緩和ケアチームピアレビュー 報告書

日 時	令和 6 年 12 月 4 日(水) 13 時 30 分～16 時 30 分	場所	Zoom 会議
対象施設	兵庫県立はりま姫路総合医療センター		
レビューア	兵庫県立西宮病院 明和病院		
参加者	司会: 兵庫医科大学病院 乾看護師 進行: 神戸市立中央病院 西本医師、兵庫医科大学病院 乾看護師 対象施設参加者: 緩和ケアチーム 坂下医師、北山看護師、岡野薬剤師 診療科医師 岡田医師 病棟看護師 大澤看護師 レビューア: 兵庫県立西宮病院 福永医師・植田医師 明和病院 泉田看護師 サポート: 神戸市立中央病院 西本医師 兵庫医科大学病院 乾看護師 オブザーバー: 関西労災病院 堀医師 兵庫県立丹波医療センター 板倉医師 神戸市立西神戸医療センター 安藤医師 神戸市立西神戸医療センター 中村看護師 兵庫県立がんセンター 丸中医師 事務局: 兵庫医科大学病院 管理課 丸尾		
プログラム	13:30-13:50 レビューア事前ミーティング 14:00-14:15 I.導入 参加者自己紹介スケジュール概要とレビュー方法について情報共有 14:15-14:45 II.ヒアリング 困りごとの内容に応じて、一般看護師や一般診療医、緩和ケアチームメンバーへのヒアリング 14:55-15:25 III.レビューア会議 レビューアの意見集約 15:30-16:00 IV.まとめ 緩和ケアチームメンバーとレビューアで総括 16:00-16:30 V. レビュー方法の振り返り		

📄 症状緩和のための専門的治療一覧について

がんの様々な苦痛症状緩和のための専門的治療として、以下のようなものが行われています。

- ◆ がんの痛みを緩和するために、鎮痛薬だけでなく 神経ブロック・緩和的放射線治療・IVR(Interventional Radiology:画像下治療) という治療方法があります。
- ◆ 腹部の痛みに対する 腹腔神経叢ブロック や会陰部痛に対する くも膜下フェノールブロック
- ◆ その他の悪性腫瘍に伴う疼痛で 神経ブロック が実施可能なもの
- ◆ 痛みを伴う骨転移にたいして、放射線治療、骨セメント注入や ラジオ波凝固療法・凍結療法
- ◆ 食道からのチューブ留置(PTEG)による、経口摂取が難しい場合の栄養補給や、腸閉塞の場合の減圧による腹満感の改善
- ◆ 難治性の腹水貯留による苦痛に対し、デンプーシャント留置
- ◆ 腫瘍からの止血困難な出血に対し、放射線治療や 動脈塞栓術
- ◆ 血管閉塞や気道・消化管閉塞に対する ステント留置や 放射線治療

これらの治療により、負担の少ない有効な症状緩和ができる可能性があります。設備や専門的技術をもつ治療医が必要であり、すべての医療施設で行うことはできません。

そこで、これらの治療に関して地域連携をはかることで、どこに住まれていても質の高い緩和ケアが提供できるよう、緩和ケア部会ワーキンググループが兵庫県のがん診療連携拠点病院に現状調査を行い、同意を得て実施可能な治療と連携の可否につき公表することといたしました。



[概要](#)



[神経ブロック療法](#)



[緩和的放射線治療](#)



[緩和 IVR](#)

※ 上記の一覧表は 2024 年 9 月 30 日現在の内容です

◆ 概 要

◎ をクリックすると各施設の詳細情報が表示されます

医療圏	施設名	公開	神経ブロック療法	緩和的放射線治療	緩和IVR
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	◎	○	◎
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	×	◎	◎
	神戸市立西神戸医療センター	○	◎	◎	◎
	神鋼記念病院	○	×	○	○
	県立こども病院	○	×	○	×
	神戸医療センター	○	×	◎	×
	神戸中央病院	○	×	×	○
	川崎病院	○	×	×	×
	神戸市立医療センター西市民病院	○	×	×	×
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	○	×	×	×
	済生会兵庫県病院	○	○	×	○
	新須磨病院	○	×	×	×
	神戸赤十字病院	○	×	×	×
	甲南医療センター	○	○	×	○
	神戸低侵襲がん医療センター	○	×	◎	◎
阪神南	関西労災病院	○	×	◎	×
	兵庫医科大学病院	○	○	○	○
	県立尼崎総合医療センター	○	◎	◎	◎
	県立西宮病院	○	×	○	○
	西宮市立中央病院	○	◎	◎	×
	明和病院	○	○	○	○
	市立芦屋病院	○	○	×	○
阪神北	近畿中央病院	○	×	◎	×
	市立伊丹病院	○	×	○	○
	宝塚市立病院	○	○	○	○
	三田市民病院	○	○	○	×
	川西市立総合医療センター	○	×	×	×
	兵庫中央病院	○	×	×	×
東播磨	県立がんセンター	○	◎	◎	○
	加古川中央市民病院	○	×	◎	◎
	県立加古川医療センター	○	×	○	○
	明石医療センター	○	×	×	○
	明石立市民病院	○	×	×	×
	高砂市民病院	○	×	×	×
北播磨	北播磨総合医療センター	○	○	◎	◎
	西脇市立西脇病院	○	○	○	×
	市立加西病院	○	×	×	×
中播磨	姫路赤十字病院	○	◎	◎	◎
	姫路医療センター	○	×	○	○
	県立はりま姫路総合医療センター	○	○	○	○
	姫路中央病院	○	×	×	×
	姫路聖マリア病院	○	×	×	×
西播磨	赤穂市民病院	○	○	○	×
但馬	公立豊岡病院	○	○	×	×
	公立八鹿病院	○	×	○	○
丹波	県立丹波医療センター	○	○	○	×
淡路	県立淡路医療センター	○	×	○	○

◆ 神経ブロック療法

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科ペインクリニック
	神戸市立医療センター中央市民病院	×			
	神戸市立西神戸医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 緩和ケア内科
	神鋼記念病院	×			
	県立こども病院	×			
	神戸医療センター	×			
	神戸中央病院	×			
	川崎病院	×			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院	○		持続硬膜外ブロック 三叉神経(上顎神経、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 地域連携経由麻酔科
	新須磨病院	×			
	神戸赤十字病院	×			
	甲南医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	トリガーポイントブロック	不可/院内紹介のみ
	神戸低侵襲がん医療センター	×			

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
阪神南	関西労災病院	×			
	兵庫医科大学病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ ペインクリニック外来
	県立尼崎総合医療センター	○		肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	県立西宮病院	×			
	西宮市立中央病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科
	明和病院	○		交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	市立芦屋病院	×			
阪神北	近畿中央病院	×			
	市立伊丹病院	×			
	宝塚市立病院	○		持続硬膜外ブロック 三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	三田市民病院	○		神経根ブロック 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科
	川西市立総合医療センター	×			
	兵庫中央病院	×			

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
東播磨	県立がんセンター	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経節、三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ 麻酔科外来
	加古川中央市民病院	×			
	県立加古川医療センター	×			
	明石医療センター	×			
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	北播磨総合医療センター	○	×	持続硬膜外ブロック 肋間神経ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	西脇市立西脇病院	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎神経、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	市立加西病院	×			
中播磨	姫路赤十字病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	可能/ ペインクリニック外来 または緩和ケア外来
	姫路医療センター	×			

医療圏	施設名	施行の有無	可能な神経ブロック(神経破壊薬)	可能な神経ブロック(局所麻酔薬)	患者紹介/窓口
中播磨	県立はりま姫路総合医療センター	○	腹腔神経叢ブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 肋間神経ブロック 神経根ブロック 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	姫路中央病院	×			
	姫路聖マリア病院	×			
西播磨	赤穂市民病院	○		肋間神経ブロック 神経根ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
但馬	公立豊岡病院	○	腹腔神経叢ブロック 脊髄クモ膜下フェノールブロック	持続硬膜外ブロック 持続くも膜下ブロック、ポート留置 三叉神経(上顎、下顎神経)ブロック 肋間神経ブロック 神経根ブロック 後枝内側枝高周波熱凝固法 交感神経節ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
	公立八鹿病院	×			
丹波	県立丹波医療センター	○		持続硬膜外ブロック トリガーポイントブロック	不可/ 院内紹介のみ
淡路	県立淡路医療センター	×			

◆ 緩和的放射線治療

医療圏	施設名	施行の有無	ゾーフィゴ療法	紹介患者受け入れ	緩和的放射線治療の窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	○	可能	放射線腫瘍科
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	○	可能	患者総合支援センター
	神戸市立西神戸医療センター	○	○	可能	放射線治療科
	神鋼記念病院	○	○	可能	原発巣診療科に紹介
	県立こども病院	○	×	可能	血液腫瘍科 地域医療連携部
	神戸医療センター	○	×	可能	放射線科・放射線治療外来
	神戸中央病院	×			
	川崎病院	×			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院	×			
	新須磨病院	×			
	神戸赤十字病院	×			
	甲南医療センター	×			
	神戸低侵襲がん医療センター	○	×	可能	地域医療連携室
阪神南	関西労災病院	○	×	可能	該当する各診療科
	兵庫医科大学病院	○	○	可能	放射線科
	県立尼崎総合医療センター	○	○	可能	総合相談窓口(地域医療担当)経由で放射線治療科
	県立西宮病院	○	×	不可(院内のみ)	2024年12月で一時休止。再開予定(2026年)
	西宮市立中央病院	○	×	不可(院内のみ)	
	明和病院	○	○	可能	がんサークリニック(放射線治療科)
	市立芦屋病院	×			
阪神北	近畿中央病院	○	×	可能	地域医療福祉センター内地域医療室
	市立伊丹病院	○	×	可能	地域医療連携室
	宝塚市立病院	○	○	可能	地域医療室
	三田市民病院	○	○	可能	放射線科
	川西市立総合医療センター	×			
	兵庫中央病院	×			
東播磨	県立がんセンター	○	○	可能	地域連携室を介して放射線治療科外来受診
	加古川中央市民病院	○	○	可能	各診療科(ゾーフィゴなら泌尿器科)
	県立加古川医療センター	○	○	可能	放射線科、緩和ケア内科
	明石医療センター	×			
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	北播磨総合医療センター	○	○	可能	地域医療連携室
	西脇市立西脇病院	○	×	可能	患者総合支援センター医療連携課
	市立加西病院	×			
中播磨	姫路赤十字病院	○	○	可能	疾患科(適応であれば疾患科より放射線科に紹介)
	姫路医療センター	○	○	可能	地域連携室
	県立はりま姫路総合医療センター	○	×	可能	放射線治療科
	姫路中央病院	×			
	姫路聖マリア病院	×			
西播磨	赤穂市民病院	○	○	可能	放射線科
但馬	公立豊岡病院	×			
	公立八鹿病院	○	○	可能	放射線科
丹波	県立丹波医療センター	○	×	可能	緩和ケア外来、がん治療支援外来
淡路	県立淡路医療センター	○	○	可能	放射線科

◆ 緩和IVR

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
神戸	神戸大学医学部附属病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科・IVR科
	神戸市立医療センター中央市民病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	患者総合支援センター ※ 放射線診断科は外来がないため、 原疾患の診療科へご紹介ください
	神戸市立西神戸医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	呼吸器内科 消化器内科 消化器外科
	神鋼記念病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	不可(院内のみ)	
	県立こども病院	×			
	神戸医療センター	×			
	神戸中央病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	
	川崎病院	×			
	神戸市立医療センター西市民病院	×			
	神戸海星病院	—			
	神戸労災病院	×			
	済生会兵庫県病院		経皮的椎体形成術(骨セメント) 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	可能	総合支援センター 地域連携を通して (骨セメントは整形外科、PTEGは消化器内科 気管・気管支ステントは呼吸器外科)
	新須磨病院	×			
	神戸赤十字病院	×			

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
神戸	甲南医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科
	神戸低侵襲がん医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	地域医療連携室
阪神南	関西労災病院	×			
	兵庫医科大学病院	○	除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科
	県立尼崎総合医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	不可(院内のみ)	
	県立西宮病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) PTEG造設	可能 (骨セメントのみ)	経皮的椎体形成術(骨セメント)は整形外科
	西宮市立中央病院	×			
	明和病院	○	除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	不可(院内のみ)	
	市立芦屋病院	○	PTEG造設	可能	外科
阪神北	近畿中央病院	×			
	市立伊丹病院	○	気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	
	宝塚市立病院	○	除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能	地域医療室

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
阪神北	三田市民病院	×			
	川西市立総合医療センター	×			
	兵庫中央病院	×			
東播磨	県立がんセンター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	不可(院内のみ)	
	加古川中央市民病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	気管・気管支ステントは呼吸器内科 PTEG造設は消化器内科 デンバーシャント造設は消化器外科 その他は放射線診断IVR科
	県立加古川医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線科
	明石医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	不可(院内のみ)	
	明石立市民病院	×			
	高砂市民病院	×			
北播磨	西脇市立西脇病院	×			
	北播磨総合医療センター	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 除痛を目的としたラジオ波凝固療法や凍結療法 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	放射線診断科 (デンバーシャント造設のみ外科)
	市立加西病院	×			

医療圏	施設名	施行の有無	施行可能な緩和IVR	紹介患者受け入れ	緩和IVRの窓口
中播磨	姫路赤十字病院	○	経皮的椎体形成術(骨セメント) 上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント	可能 (静脈ステントは 院内紹介のみ)	経皮的椎体形成術は整形外科 気管・気管支ステントは呼吸器センター
	姫路医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	不可(院内のみ)	
	県立はりま姫路総合医療センター	○	気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	気管・気管支ステント(窓口:呼吸器内科) PTEG(窓口:消化器内科) デンバーシャント(窓口:消化器内科)
	姫路中央病院	×			
	姫路聖マリア病院	×			
西播磨	赤穂市民病院	×			
但馬	公立豊岡病院	×			
	公立八鹿病院	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設 腹水貯留に対するデンバーシャント造設	可能	
丹波	県立丹波医療センター	×			
淡路	県立淡路医療センター	○	上大静脈・下大静脈症候群に対する静脈ステント 気道狭窄に対する気管・気管支ステント PTEG造設	可能	放射線科

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項 目	内 容
令和6年度の活動報告	○ がんパスの使用状況につき検討した。 令和6年3月末時点におけるアンケート調査を行い、令和5年度の登録件数は1485件、累計14,339件のパス利用があった。 累計の内訳は、乳がん 6,657件、胃がん 2,938件、大腸がん 2,179件、肺がん 1,401件、肝臓がん 118件、前立腺がん 1,014件、子宮体がん 32件。 ○ 各がんの地域連携パスを見直し、修正を進めた。 ○ がん診療における地域連携の現況について、令和6年3月末時点におけるアンケート調査を行った。 Webによる退院前カンファレンスについては、49施設中21施設が実施、令和5年度の実施件数は、集計不可等の回答施設を除き、485件であった。 遠隔診療については、49施設中4施設が実施、令和5年度の実施件数は167件であった。 がんゲノム診療については、49施設中41施設から回答を得られ、そのうちがん遺伝子パネル検査を実施した、もしくは実施している施設に患者を紹介した施設は、20施設であった。治療につながった症例数については、20施設中、15施設から回答を得られ、その率については、平均16%であった。
令和7年度の活動計画 及び今後の検討課題等	○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。 ○ がん地域連携パスの運用上の問題点を抽出改訂し活用を図る。 ○ がん地域連携に関する問題点を抽出し対応を検討する。

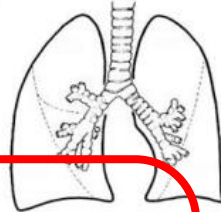
< 肺がん地域連携パスの改訂について >

現行パス

1-1-1 肺がんパス説明文（術後汎用パス 医療者用）兵庫県統一版（Ver. 4.0）

【がん情報の詳細】

診断名 左右 部位 組織型
☐右 ☐左 ☐両側
☐上葉 ☐中葉 ☐下葉
☐腺がん ☐扁平上皮がん ☐大細胞がん
☐その他（ ）



病期【病理的】：肺癌取り扱い規約第8版（2017）

T 因子 ☐Tis ☐T1 (mi, a, b, c) ☐T2 (a, b)
☐T3 ☐T4
N 因子 ☐N0 ☐N1 ☐N2 ☐N3
M 因子 ☐M0 ☐M1 (a, b, c)
Stage ☐IA (1, 2, 3) ☐IB ☐IIA ☐IIB
☐IIIA ☐IIIB ☐IIIC ☐IVA ☐IVB

その他の情報あればご記入を

治療

手術
術式 ☐部分切除 ☐区域切除 ☐肺葉切除 ☐肺全摘
☐その他（ ）
合併切除 ☐なし ☐あり（ ）
施行日 令和 年 月 日
治療効果 ☐治癒切除 ☐非治癒切除 ☐治癒度不明 ☐不詳
術後合併症 ☐なし ☐あり（ ）
手術以外の治療 ☐なし ☐あり（ ）

その他の情報あればご記入を

その他連絡事項

◆ 医療者用パス【がん情報の詳細】ページ中、病期分類のチェック項目を肺癌取り扱い規約 第9版 に合わせて修正

- ▶ N分類：N2を「N2a」「N2b」に細分化
- ▶ M分類：M1cを「M1c1」「M1c2」に細分化

※ 術後パス・UFTパスとも共通

病期【病理的】：肺癌取り扱い規約第9版（2025）

T 因子 ☐Tis ☐T1 (mi, a, b, c) ☐T2 (a, b)
☐T3 ☐T4
N 因子 ☐N0 ☐N1 ☐N2 (a, b) ☐N3
M 因子 ☐M0 ☐M1 (a, b, c1, c2)
Stage ☐IA (1, 2, 3) ☐IB ☐IIA ☐IIB
☐IIIA ☐IIIB ☐IIIC ☐IVA ☐IVB

その他の情報あればご記入を



< 胃がん地域連携パス（内視鏡治療）の改訂について >

連携計画書の修正

現行パス

ステージⅠ ESD	術後 受診・検査は現在治療中の病気や体調により変化します。																						
	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年	2年6ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月	5年	6年	7年	8年	9年	10年	
〇〇〇〇病院	/		/		/		/		/		/		/		/		/						
診 察	●		●		●		●		●		●		●		●		●						
採 血	●		●		●		●		●		●		●		●		●						
C T							●				●		●		●		●						
エコー							△				△		△		△		△						
胃内視鏡			○		○		○		△		○		○		○		○						
かかりつけ医		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
診 察		●		●	△	●	△	●		●	△	●	△	●	△	●	△	●	●	●	●	●	
採 血		●		●		●		●		●		●		●		●		●	●	●	●	●	
エコー							△				△		△		△		△	△	△	△	△	△	
胃内視鏡			○		○		○		△		○		○		○		○	△	△	△	△	△	

◆ 診療負担の軽減を目的に、一部の必須受診を「△できれば行う」に変更

- ▶ 術後 6ヶ月：診察・採血…拠点病院での「●必須」を「△できれば行う」に
：内視鏡…「○どちらかの施設で実施」を「△できれば行う」に
- ▶ 術後1年3ヶ月：診察・採血…かかりつけ医の「●必須」を「△できれば行う」に
- ▶ 術後1年6ヶ月：診察・採血…拠点病院の「●必須」を「△できれば行う」にし、
かかりつけ医で「●必須」に
- ▶ 術後1年9ヶ月：診察・採血…かかりつけ医の「●必須」を「△できれば行う」に

(図1)

ステージ I ESD											
		4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年	2年	
〇〇〇〇病院			/		/		/		/		
診 察			△		●		△		●		
採 血			△		●		△		●		
C T					●				●		
エコー					△				△		
胃内視鏡			△		○		△		○		
かかりつけ医	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
診 察	●	△	●	△	△	●	●	△	△		
採 血	●		●		△	●	△				
エコー					△				△		
胃内視鏡		△			○		△		○		

※ ●は必須、○はどちらかの施設で実施する。△はできれば行ってください。

連携ノートの修正

※ ①、②、③ の修正は
術後パスの連携ノート
にも適用

◆ ノートの使いやすさ、見やすさの点からページ構成を修正、及び項目追加

- ▶ 連携計画書ページを用途により、2箇所に分離 ①
 - * 連携計画(診療スケジュール・腫瘍マーカー記載欄)…医療者を含む確認用 (図2)
 - * 自己チェックシート(術後状態・血液データー)…患者の任意使用 (図3)
- ▶ 検査結果の所見欄に異常の有無の記載欄を追加 ② (図4)
 - ▶ 後遺症・合併症の説明ページを追加

図2

内視鏡治療 胃がん治療に関する連携計画書

術後	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年3ヶ月	1年6ヶ月	1年9ヶ月	2年
〇〇〇〇病院	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察	●		●		△		●		△		●
採血	●		●		△		●		△		●
C T							●				●
エコー							△				△
胃内視鏡			○		△		○		△		○
かかりつけ医	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		●		●	△		●		△		△
採血		●		●			●		△		△
エコー							△				△
胃内視鏡			○		△		○		△		○

腫瘍マーカー 基準値 (病院) CEA: ng/ml, CA 19-9: ng/ml

術後	2年6ヶ月	3年	3年6ヶ月	4年	4年6ヶ月	5年	6年	7年	8年	9年	10年
〇〇〇〇病院	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察		●		●		●					
採血		●		●		●					
C T		●		●		●					
エコー		△		△		△					
胃内視鏡		○		○		○					
かかりつけ医	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
診察	●	△	●	△	●	△	●	●	●	●	●
採血	●		●		●		●	●	●	●	●
エコー		△		△		△	△	△	△	△	△
胃内視鏡		○		○		○	△	△	△	△	△

腫瘍マーカー 基準値 (かかりつけ医) CEA: ng/ml, CA 19-9: ng/ml

※ ●は必須、○はどちらかの施設で実施する。△はできれば行ってください。
※ 上記の受診日はおまかなめやすです。定期受診日以外でも必要があれば診察します。
また、症状に応じて、適宜血液検査・画像検査・その他の検査などを行います。

図3

自己チェックシート

術後状態 (受診日前に状態をご自身でご記入ください)

(1) 食 事 量 : A. 前と同じくらい B. 3分の2程度
C. 半分程度 D. 半分以下

(2) 便 通 : a. 良好 b. 便秘がち c. よく下痢をする
d. 下痢、便秘を繰り返す

(3) 症状など : 0. 症状ない 1. 現在の方法で満足
2. ひどくないが、方法があるなら教えてほしい
3. 我慢できないことがあり、対応してほしい
4. ずっと我慢できない状態が続いている

術前の身長 cm、体重 kg

術後状態	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年
体重	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
食事量 (1)	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D	A B C D
食事回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
便 通 (2)	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d	a b c d
便回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
痛み	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
食欲不振	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
不眠	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
不安	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
気持ちのつらさ	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4	0 1 2 3 4
その他							

血液データー (病院でもらった血液検査プリントをご自身で書き写してご利用下さい)

	1-2週間	1-2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年
ヘモグロビン							
アルブミン							
コレステロール							
鉄							
カルシウム							

◆ 診療実態に合わせた変更

- ▶ ピロリ菌の感染状況、除菌治療歴の記載欄を追加 (図5)
- ▶ 連携計画書中、腫瘍マーカー測定値の記載欄から[CA125]を削除 ③

図4

術後検査結果 (胃内視鏡)

検査時期	所 見
術後 3ヶ月 実施施設	異常 ☐ あり ☐ なし
術後 6ヶ月 実施施設	異常 ☐ あり ☐ なし

図5

ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌について

感染状況 【 現感染, 未感染, 既感染 】

除菌治療歴 【 有, 無 】

* 有りの場合

除菌の時期 年 月

除菌成功の有無 【 有, 無 】

肝がんパス連携について

兵庫県立がんセンター 消化器外科

田中基文

肝がんパス運用状況

- 当院では現在私がフォローしている1名のみ
- 他施設において現在の導入患者数はいない

その原因

- 再発の評価＋肝機能のフォローのため専門病院の受診が原則3ヶ月ごとであり、連携する余地が少ない。
(ガイドライン上は3ヶ月おきのエコーと6-12ヶ月おきのCT/MRIを推奨)
- 連携協力施設数が他がんと比べて少ない（肝機能フォローのハードルが高い？）
- 肝障害の病態が様々である
 - 1) 代償期で投薬など必要ない患者：かかりつけ医に通院する必要はない。
 - 2) 非代償期でもごく軽症で安定している患者：3か月毎に画像検査を行うので、3か月投薬を希望され、かかりつけ医には行かない。
 - 3) 非代償期の中等症以上：病状が不安定であることが多く、かかりつけ医では対応困難とされ、専門医療機関での管理が必要となる。
- 薬物療法の増加：多岐にわたるプロトコール、患者管理が難しい
(逆に協力できる施設があれば副作用チェックで頻繁に専門施設に通わなくて済む可能性も)

こういった患者が現実的に対象となりうるか

- 他疾患で短期間(1-2ヶ月に1回)でかかりつけに通院している患者
- 比較的遠方の患者
- 代償期、非代償期軽症までで肝機能の変化が急激に起こりにくい患者
- 薬物療法中の副作用チェックが必要な患者（病院は限られる）

患者、専門施設にとってメリットがないと症例を増やすことは難しい
連携施設対象となる病院への理解、啓蒙も必要

地域連携パスの導入例

- 64M、 NASH-HCC S8 3cm
- 163cm 84kg BMI 31.6
- 腹腔鏡下肝部分切除施行
- 離島在住
- 姫路のクリニックに糖尿病にて毎月通院



肝がん治療に関する連携計画書(1~6ヶ月)

診療場所	かかりつけ医	かかりつけ医	がんセンター
経過	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
月 日	月 日	月 日	月 日
検 査	☐ 血液検査	☐ 血液検査	☐ 血液検査 ☐ お腹のCT または MRI
AST			
ALT			
Alb			
T-Bil			
PT(N)			
AFP			
PIVKA-II			
RBC			
Hb			
Plt			
BUN			
Crea			
体 重	kg	kg	kg
むくみ	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし	☐ あり ☐ なし
食欲 *			
体重不変 *			
下痢 *			
不安 *			
発熱のつらさ *			
その他			

*「症状など」の「痛み」「食欲不変」「不眠」「不安」「発熱のつらさ」は
0 症状がない 1 現在の方法で満足 2 ひどくないが、方法があるなら教えてほしい
3 我慢できないことがあり、対応してほしい 4 ずっと我慢できない状態が続いている で記載

13

< 肝がん地域連携パスの改訂について（案） >

連携ノートの修正案

◆「肝がんについて」の ページを現在の診療 実態に合わせて修正

肝がんについて

肝がんの患者さんの多くにC型肝炎やB型肝炎というウイルス感染、アルコール多飲、脂肪肝などがみられ、さらに自己免疫などが関与することもあります。そのため、たいていの方が慢性肝炎や肝硬変といった病気を併存しています。従って肝がんの治療に際しては、がんと平行して平素から肝機能のチェックや注射、投薬が必要となりますが、この日常の診療をかかりつけ医に行っていただきます。

CT、MRIやエコーなどの肝がんの専門的な定期検査は〇〇〇〇病院で受けていただきます。肝がんは治療しても高率に再発する病気ですが、その時の肝機能や肝硬変の程度を天秤にかけながら、がんの治療法を考えていく必要があります。

CTなどで再発が見つかった場合は、〇〇〇〇病院で腫瘍の大きさや場所と肝予備能を検討した上で、各々に適した治療を受けていただきます。

肝がんの治療には以下のものがあります。

- 1) 肝切除術(開腹、腹腔鏡、ロボット)
- 2) 穿刺焼灼療法(ラジオ波)
- 3) エタノール注入療法
- 4) 経肝動脈化学塞栓療法
- 5) 肝動注療法
- 6) 全身化学療法(分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬の内服／静注)
- 7) 放射線・粒子線療法
- 8) 肝移植(脳死・生体)
- 9) 経皮的肝灌流化学療法 *

それぞれの治療には適応基準があり、各患者さんの肝予備能と腫瘍の状況を考え合わせながら、最善の治療法を検討いたします。

なお、肝移植(脳死)は神戸大学病院、肝移植(生体)は、神戸大学病院、神戸市立医療センター中央市民病院において実施しています。

* 経皮的肝灌流化学療法は、神戸大学病院において自費診療として実施しています。